

補正予算（原案）及び修正案に対し、本会議場にて討論が行われました。内容を要約し、発言順にご報告します。

補正予算について

徹底 討論



鈴木一弘 議員

原案に賛成
修正案に反対

運営主体については、当初の計画とは若干違っているようであるが、私はぎりぎりまで調整をしたものと考えている。施設建設の補助金の対象、将来的には増設をできるというプラン、市内の12団体から要望書が提出をされた等、今回の負担金の予算計上は正しいと考える。

また、相馬市復興計画 Ver.3.2においても、復興市民市場の整備と活用は明確にうたっており、復興会議にも承認もされているため、早期に整備すべきと考えている。

原案に反対
修正案に賛成

要望書は12団体から提出されているが、つくってほしいというお願いであり、中身が不十分ではないか。市当局として12団体を集めて会議をして、団体の意見をもっと聞いて、どうやって協力をいただくかということについて、話し合いが必要である。



尾高雅夫 議員

原案に賛成
修正案に反対

今回、市の観光関係やスポーツ関係12団体から復興市民市場の早期整備を強く要望されている。その日に水揚げされた活きのいい魚を食べていただくことが実現しようとしている今、この復興市民市場はいまだに放射能や風評被害に苦しむ相馬市、そして、福島の復興を広く全国に安全宣言を発信する拠点の1つになると信じている。早々に相馬産の農産物や魚介類が全国に届く日がくることを期待して、原案に賛成する。



菊地清次 議員

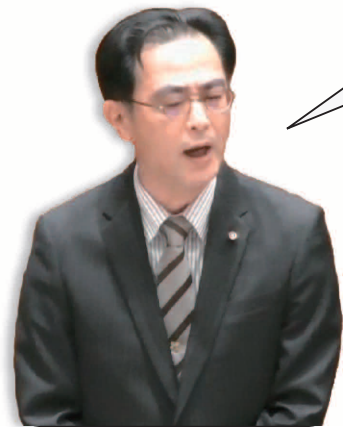


河内幸夫 議員

**原案に賛成
修正案に反対**

これから10年、20年、30年後にいい相馬市になったと思っていただくために、どこから要望があるとかないとかの問題でないと思う。議会も市もより積極的に進めなくてはならないもので、いろいろなことをしなくてはならない。これからPRやイベントもやらなくてはならない。昔、土日、夏休みにどんどん浜に人が来て、相馬の魚を買って、食べて、民宿もいっぱいになって、相馬の漁業、農業が元気だった。いろいろな努力をしてこれからそういう相馬市を後世に残すことが我々の仕事ではないのか。積極的にこれは進めなくてはならない。

**原案に賛成
修正案に反対**



只野敬三 議員

当初の計画と大きく異なるのではないかという議論がされているが、それは当たり前なことである。状況が変わったから、改めて執行部が今回、議会に問いかけている問題である。

大きく変わったのは、他の議員の発言にあったように、本来、運営主体としてなろうとしていた漁協ができない。それは風評被害が思ったより長くて、漁協全体の体力が回復していないということ。この事業は漁協からの要望書がきっかけだが、事業化すると決めたのは相馬市である。

復興計画の中で、この事業は計画されており、これは市の責任においてしっかり進めていかなければならない。理由はいまだに風評被害、さらには実被害が存在しているということ。漁業においてもいまだに完全操業ができない。農業においても出荷制限がかかっているものもある。この風評被害は第1次産業だけではなく、第3次産業においても存在している。もっと言えば、市民一人一人にもいまだにのしかかっている問題である。

この大きな問題に対して、市は復興を成し遂げるためにこれを何とか施策化、事業化をして1日も早くこの事業を推進すべきだと思っている。第3セクターということで赤字の垂れ流しになるのではないかという議論が一般質問でもされていたが、今回はあくまでも運営会社である。大きな設備投資をする性質のものではなく、大きな負債を抱えるものではないと考えている。

12月定例会賛否一覧

| 議員名 | 議決結果 | 賛成 | 反対 | 新政会 | | | | | | | 未来そうま | | | | そうま維新 | | 無会派 | | | | | |
|-----------------------------------|---------------|----|----|----------|----------|----------|----------|-----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----|
| | | | | 山中 宣明 | 高玉 良一 | 菊地 清次 | 立谷 耕一 | 波多野 広文 | 佐藤 満 | 杉本 智美 | 鈴木 一弘 | 只野 敬三 | 植村 恵治 | 石橋 浩人 | 尾高 雅夫 | 浦島 勇一 | 根岸 利宗 | 高橋 利宗 | 河内 幸夫 | 村松 恵美子 | 米山 光喜 | |
| 議案第93号 平成30年度 相馬市一般会計補正予算(第5号) | 修正案可決 原案否決 | 14 | 3 | ○ | ○ | ○ 討 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ 討 | ○ 討 | ○ | ● 討 | ● 討 | ● 討 | ○ | ○ 討 | ○ 討 | ○ 討 | 議長 |

※ ○は賛成 ●は反対 「欠」は欠席 「討」は討論を行った者
※ 議長(米山光喜)は採決に加わりません

**原案に反対
修正案に賛成**

今までの議会の審査を踏まえていけば、これは全く当議会として了承すべき内容ではない。これまでの政策形成過程は了承しながらも、最終的に今までの議論というものが全くない状況になっている。まだまだ議論すべき課題があるのではないかと考える。

基本は浜の復興であり、相馬市全体の風評被害の払拭なのだろうと考えたときに、当初の目的を改めて我々は考えていくべき時期ではなかろうかと思う。多少なりとも、その時期が遅れたとしても、市民創意を持って、全体の利益、相馬市の発展に資する施設の建設であれば、我らは当然了承するわけだが、政策形成過程における不備をどうしても認めない状況にあつては、新たな事業において、再考すべきと考える。



浦島勇一 議員

**原案に賛成
修正案に反対**



村松恵美子 議員

漁協が中心となってやるものと思っていたが、いろいろな事情で漁協そのものの体力がなくなっている。第3セクター方式は責任逃れな気がして、あまり成功した事例を見ていないので、市が中心になって本気でやれと一般質問でもあえて言わせてもらった。本当に市と議会が本気になってやらないと、相馬の未来はなくなってしまうのではないかと思う。市民の代表である議員、公務員として市の生活を守る任務を持っている市職員、市長を先頭に本気になってやるべき問題だと思う。そういった意味でいろいろな心配事はあるかもしれないが、みんなで力を合わせてクリアしていく時期が今だと思っている。

**原案に反対
修正案に賛成**

趣旨については提案理由の説明でも述べさせていただいた。今ほど原案に賛成、修正案に反対の方々の議論を聞かせていただいたが、第3セクターは反対だけでも、市が中心になってやれというような議論は、私にはよく理解できない。

また、他の議員から当初と若干違っているというような発言があったが、私は25%から51%と、市がほぼ全責任を負わざるを得ないような立場になるというのが、全く若干ではないと考える。運営主体もその後で頑張ってほしい、浜が復興してほしい、これは我々も本当に同じ気持ちである。しかし、市が中心になるということでこれが払拭されるというイメージが私たちの中にはどうしても湧いてこない。負の遺産になってくる状況が大きいのではないのかという懸念を皆さんのお話を聞いていても払拭できない。



根岸利宗 議員